

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月20日

事業所名 子どもデイサービスmomo

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1	2	狭いと感じる事がある。利用者多くなると狭くなる為配置を工夫している。利用者数が定員の時は職員の数が多い時があり移動する際に注意が必要な時がある。	
	2 職員の配置数は適切である	10			料者数に対して職員の人数が少ない時がある為、事故が起きないように注意が必要。	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	7	2	1	今後新施設で叶う予定。適切になされている。床マットの経年劣化に伴う段差に対して適宜改善は図るが、繰り返している。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	1		個々ではある。全体ではあまりない。適宜参加している。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10			適切に改善につなげている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	9	1		ホームページで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	7		3	第三者の評価があったほうが良い。適切に改善に繋げている。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	9	1		適宜研修を行っている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	9		1	アセスメントを適切に行い、計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9		1	標準化されたアセスメントツールを知らない。適切に使用している。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	10			チームで行っている	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	10			工夫されている	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	9	1		きめ細かに設定して支援している。利用者で成長のスピードや障害の状況で変わる為、全員が細かく設定は難しい。細かくではないが一日利用時には試してみる項目などはある。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	10			適切に支援計画を作成している	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	1		支援開始前に確認している	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10			適宜振り返りを行い、職員間で共有している	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10			日々記録をとり支援の検証・改善に繋げている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10			適切に判断している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	8	2		適切に複数組み合わせ支援を行っている。ガイドラインの総則の基本活動について知らない。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10			最も相応しいものが参画している。		

関係機関や保護者との連携	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	10				適切に行っている		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10				適切に整えている		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	8		2		適切に情報共有と相互理解に努めている		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	10				適切に情報を提供している		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	6		4		定期的に助言や研修を受けている		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	1	7		障害のない子供と活動する機会はほとんどない		
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	2	1	7		ほとんど参加できていない		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10				日頃から共通理解をもっている		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	5	2	3		ほとんど行っていない ペアレントトレーニングについて知らなかった。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8		2		丁寧な説明を行っている。 自分の役割でない為行っていない。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10				適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	1	7		ほとんど開催できていない		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10				迅速かつ適切に対応している		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	2			定期的におたよりを発行している		
	35	個人情報に十分注意している	10				十分注意している		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10				適切に配慮している		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	7		行事に地域住民を消退することは難しい。		
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10				マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10				定期的に訓練を実施している。		

非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			適切に対応している。		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		1	現状の利用者でやむを得ず身体拘束を行う事は該当者がいないため、支援計画に記載していない。		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	8	1	1	指示書に基づいて対応している。 アレルギーはあるが指示書の記入はない 食物アレルギー児がいない		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			適切に共有している		

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月20日

事業所名 子どもデイサービスsmile

	チェック項目	はい	どちらとも いいえ		いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	8			2	利用者が定員の時は職員の人数が多い時がある為、移動する際は特に注意が必要。狭いと感じる。	
	2 職員の配置数は適切である	8	1		1	利用者数に対して職員の人数が少ない時がある為、事故が起きないように注意が必要。少ないと感じるが、増えるとスペース的に厳しい	
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	8	1		1	適切になされている。	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	1			半年に一度人事考課を行っている。全体ではあまりないように感じる。 半年に一度支援会議を行っている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	10				適切に改善に繋げている。	
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	10				ホームページで公開している。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3			7	適切に改善に繋げている。第三者の評価があった方が良い。	
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	8	2			適宜研修を行っている。	
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	10				アセスメントを適切に行い、計画を作成している。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	8	1		1	適切に使用している。標準化されたアセスメントツールを知らない。	
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	9	1			チームで行っている。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	1			工夫されている。朝の会の見直しを行った。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	6	3		1	細かくではないが一日利用時には試してみる事などはある。制作や嚙下体操、イベントなどを計画している。 きめ細かに設定して支援している。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成している	10				適切に支援計画を作成している。	
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	10				支援開始前に確認している。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	10				適宜振り返りを行い、職員間で共有している。	
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	10				日々記録をとり支援の検証・改善につなげている。	
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	10				適切に判断している。	
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	5	4		1	適切に複数組み合わせて支援を行っている。ガイドライン総則の基本活動について知らない。		
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	10				最も相応しいものが参画している。		
21 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	9	1			適切に行っている。		
22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	10				適切に整えている。		
23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		4	適切に情報共有と相互理解に努めている。		

関係機関や保護者との連携	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	7		3	学校を卒業していない。 適切に情報を提供している。		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	2	4	定期的に助言や研修を受けている。		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	3		7	障害のない子供と活動する機会はほとんどない。		
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加している	3		7	ほとんど参加できていない。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	10			日頃から共通理解をもっている。 普段の様子等を伝え、共通理解を図っている。		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	4	3	3	ほとんど行っていない。ペアトレーニングについて知らない。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	9		1	丁寧な説明を行っている。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	10			適切に応じ必要な助言と支援を行っている。		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2		8	ほとんど開催できていない。		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	10			迅速かつ適切に対応している。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	10			定期的におたよりを発行している。		
	35	個人情報に十分注意している	10			十分注意している。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	10			適切に配慮している。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	8	行事に地域住民を招待する事は難しい。		
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	10			マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している。		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	10			定期的に訓練を実施している。		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	10			適切に対応している。		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	9		1	現状の利用者でやむを得ず身体拘束を行う事は該当者がいない為、支援計画に記載していない。		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7	3		アレルギーはあるが指示書への記入はない。 指示書に基づいて対応している。		
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	10			適切に共有している。			